

# NO! リニア

No. 2 1

2010年 5月25日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

## シンポジウム・リニア中央新幹線は必要か？シリーズ①

# リニアは第二の国鉄・JALの危険性！ 会社は労働組合への説明責任を果たせ！

3月28日、「北とぴあ」で開催されたシンポジウム「リニア中央新幹線は必要か？」は、多数の参加者で成功裡に終了しました。シンポジウムでは、6名のパネラーからそれぞれの分野で報告されました。大変意義のある報告ですので、本情報にてシリーズで紹介します。第1弾はJR東海労鈴木委員長です。

### JR東海労鈴木富雄中央執行委員長

JR東海労は、JR東海を第二の国鉄やJALにさせてはならない、自然をこれ以上破壊してはならない、というのがリニア中央新幹線構想に反対する基本的立場です。はじめから反対というのではなく、この間、学習や講演などを通じ、全職場で議論し、大会でリニア中央新幹線構想反対の方針を決定してきました。

JR東海労は、会社に関し、リニア中央新幹線構想に関する申し入れを行ってきましたが、十分な回答は得られていません。

会社は、「東海道新幹線の輸送力は限界だ」と言いつつ、一方では「需要は頭打ちだ」と矛盾したことを言っています。リニア中央新幹線構想の新規需要は99億人<sup>キ</sup>。という会社の試算ですが、新幹線に乗らない人がリニアに乗ってみたいといふことがあるのでしょうか？ JR東海には現在まだ3兆1,700億円もの債務が残っており、今後5兆円、8兆円、10兆円にもなる債務は大丈夫なのでしょうか？会社は、電力については「余力電力の範囲で補える」、電磁波については「WTOの基準を大幅に下回っている」という根拠のない回答をしました。

このように、JR東海経営陣は、JR東海労の質問に誠実に答えていません。国家的プロジェクトを、多大な債務を抱える一企業が運営することは無謀です。その一方で、コスト削減、賃金抑制などの労務管理が進み、安全も危惧されています。

